



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-242-3223

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,564	9.6	347	223.9	468	210.2	297	145.1
28年3月期第3四半期	15,107	5.5	107	△30.0	150	△31.3	121	△34.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 453百万円 (497.0%) 28年3月期第3四半期 75百万円 (△77.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	59.00	—
28年3月期第3四半期	24.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,050	68.3	8,236	68.3		
28年3月期	11,330	69.6	7,883	69.6		

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 8,236百万円 28年3月期 7,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	6.1	320	872.1	400	254.7	200	184.1	39.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	5,369,671 株	28年3月期	5,369,671 株
29年3月期3Q	334,062 株	28年3月期	334,062 株
29年3月期3Q	5,035,609 株	28年3月期3Q	5,035,609 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)の経営成績は、売上につきましては、中小規模物件を中心に新規の受託が進んだことに加え、前連結会計年度に獲得した大型受託物件および連結子会社化した香港のRazor Glory Building Maintenance Ltd. (以下、RG社)が期初から寄与したこと、堅調な随時売上、リニューアル工事受注案件の大型化等により堅調な推移となりました。

利益面につきましては、前連結会計年度に獲得した受託物件の収益改善、新規受託物件に大型物件が少なかったことによる、立ち上げに関わるイニシャルコスト(募集費、教育費、引継ぎ費用等)の発生が限定的であったこと、またグローバル事業に関する費用(株式取得に関わるアドバイザー費用等)の発生も一巡したことにより収益性は大きく改善し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は堅調な推移となりました。

結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高165億64百万円(前年同四半期比9.6%増)、営業利益3億47百万円(同223.9%増)、経常利益4億68百万円(同210.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億97百万円(同145.1%増)と増収増益となりました。

ビルメンテナンス事業

(クリーン業務)

クリーン業務につきましては、前連結会計年度に獲得した品川シーズンテラス、ジ・アートグレイスなどの大型物件や子会社化したRG社の売上および利益が期初から寄与したことに加え、名古屋市営地下鉄の契約更新に伴う増床などにより、売上高は86億91百万円(前年同四半期比7.8%増)、営業利益は10億99百万円(同15.8%増)と増収増益となりました。

(設備管理業務)

設備管理業務につきましては、東京ガーデンテラス紀尾井町、尾張一宮駅前ビルなどの新たな物件を獲得しました。また既存物件の収益改善や堅調な随時売上による利益の増加により、売上高は34億26百万円(同8.6%増)、営業利益は1億43百万円(同144.0%増)と増収増益となりました。

(セキュリティ業務)

セキュリティ業務につきましては、尾張一宮駅前ビル、東京日本橋タワー丸紅専用部、シンフォニー豊田ビル等の新規受託に加え、既存管理物件である名古屋センタープラザビルなどの収益改善が、売上・利益の両面に寄与しました。売上高は21億38百万円(同2.8%増)、営業利益は1億35百万円(同4.1%増)と増収増益となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は142億56百万円(同7.2%増)となり、営業利益は13億78百万円(同21.1%増)と総じて堅調に推移しております。

リニューアル工事業

リニューアル工事業につきましては、名古屋・東京地区共に大型の工事の受注が増加し、売上高は17億25百万円(同27.3%増)、営業利益は1億27百万円(同82.9%増)となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、新規に指定管理者物件の尾張一宮駅前ビル、天白スポーツセンターを受託しました。また愛知県新城市にて2基目となります太陽光発電事業を開始し、売上高は5億82百万円(同27.6%増)、営業利益は21百万円(同33.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産120億50百万円(前連結会計年度末比7億20百万円増)、負債の部は38億14百万円(同3億67百万円増)となり、純資産の部は、82億36百万円(同3億53百万円増)となりました。

資産の部の増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加による「現金及び預金」の増加と連結売上高増加による「受取手形及び売掛金」の増加が主な要因であります。

また負債の部の増加要因は、「短期借入金」とメガソーラー設備の取得に伴う「長期借入金」の増加によるものであります。

そして純資産の部の主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加による「利益剰余金」の増加と「その他有価証券評価差額金」の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日に修正しました業績予想に対する進捗率が、売上高77.0%、営業利益は108.5%、経常利益は117.1%、親会社株主に帰属する四半期純利益は148.5%と堅調な推移となっておりますが、第4四半期にいくつかの新規物件立ち上げが予定されており、それに関わるイニシャルコスト(募集費、教育費、引継ぎ費用等)の発生やベトナムのビルメンテナンス会社の一部株式取得(平成28年12月26日公表)に関わるアドバイザー費用等の発生も予定されていることから、前回公表値を据え置きとさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,655,205	2,251,379
受取手形及び売掛金	2,316,339	2,476,151
有価証券	120,489	250,000
商品及び製品	7,713	8,346
原材料及び貯蔵品	42,539	42,378
繰延税金資産	97,093	43,844
その他	46,629	87,349
貸倒引当金	△1,225	△1,323
流動資産合計	4,284,784	5,158,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,212,363	2,330,328
減価償却累計額	△1,417,488	△1,471,092
建物及び構築物(純額)	794,874	859,236
機械装置及び運搬具	777,156	1,076,879
減価償却累計額	△444,458	△498,691
機械装置及び運搬具(純額)	332,698	578,187
工具、器具及び備品	402,670	428,656
減価償却累計額	△308,519	△325,703
工具、器具及び備品(純額)	94,151	102,952
土地	1,279,950	1,279,950
リース資産	10,620	10,620
減価償却累計額	△6,372	△8,496
リース資産(純額)	4,248	2,124
建設仮勘定	140,532	—
有形固定資産合計	2,646,455	2,822,451
無形固定資産		
のれん	97,112	97,745
ソフトウェア仮勘定	—	6,188
その他	86,236	89,716
無形固定資産合計	183,349	193,650
投資その他の資産		
投資有価証券	2,432,477	2,361,619
差入保証金	264,192	249,069
退職積立資産	1,147,835	885,070
保険積立資産	107,112	105,339
ゴルフ会員権	154,558	154,558
繰延税金資産	19,819	20,859
その他	117,371	127,582
貸倒引当金	△27,435	△27,435
投資その他の資産合計	4,215,932	3,876,663
固定資産合計	7,045,737	6,892,766
資産合計	11,330,521	12,050,891

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	664,672	623,758
短期借入金	100,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	33,329	54,996
リース債務	2,124	2,124
未払金	17,529	53,626
未払費用	152,706	262,309
未払給与	910,948	914,393
未払法人税等	150,206	112,476
未払消費税等	207,206	176,445
賞与引当金	233,664	72,466
その他	115,631	239,368
流動負債合計	2,588,019	2,791,964
固定負債		
長期借入金	291,674	433,761
長期未払金	37,650	32,002
リース債務	2,124	531
預り保証金	28,696	29,795
退職給付に係る負債	213,473	177,389
役員退職慰労引当金	269,259	280,798
繰延税金負債	16,264	68,267
固定負債合計	859,142	1,022,545
負債合計	3,447,161	3,814,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	6,325,512	6,521,874
自己株式	△314,545	△314,545
株主資本合計	7,711,404	7,907,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,887	327,969
為替換算調整勘定	△11,932	646
その他の包括利益累計額合計	171,955	328,615
純資産合計	7,883,359	8,236,381
負債純資産合計	11,330,521	12,050,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	15,107,594	16,564,602
売上原価	13,349,457	14,442,741
売上総利益	1,758,137	2,121,861
販売費及び一般管理費		
役員報酬	140,464	139,212
給料	644,938	676,972
賞与引当金繰入額	88,729	105,882
役員退職慰労引当金繰入額	15,643	15,394
退職給付費用	16,046	18,950
賃借料	119,020	124,295
減価償却費	63,172	70,303
のれん償却額	2,753	7,244
保険料	37,822	43,106
その他	522,330	573,262
販売費及び一般管理費合計	1,650,923	1,774,625
営業利益	107,214	347,235
営業外収益		
受取利息	17,218	11,731
受取配当金	39,237	30,702
受取手数料	10,845	10,679
受取保険金及び配当金	3,159	2,905
保険返戻金	299	71,051
持分法による投資利益	7,895	5,632
貸倒引当金戻入額	—	103
その他	2,402	4,095
営業外収益合計	81,058	136,900
営業外費用		
支払利息	2,341	2,155
支払手数料	30,708	5,325
障害者雇用納付金	4,150	3,750
保険解約損	—	4,628
雑損失	105	8
営業外費用合計	37,305	15,866
経常利益	150,967	468,270
特別利益		
固定資産売却益	33	1,290
投資有価証券売却益	6,829	5,087
投資有価証券償還益	74,762	—
受取保険金	—	801
特別利益合計	81,625	7,180
特別損失		
固定資産除売却損	2,060	129
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	4,947	763
特別損失合計	7,008	902
税金等調整前四半期純利益	225,585	474,547
法人税、住民税及び事業税	39,786	136,588
法人税等調整額	64,591	40,885
法人税等合計	104,378	177,473
四半期純利益	121,207	297,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,207	297,074

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	121,207	297,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,921	144,081
為替換算調整勘定	714	12,578
その他の包括利益合計	△45,207	156,660
四半期包括利益	75,999	453,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,999	453,734

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	8,060,255	3,154,307	2,081,590	1,354,672	456,768	—	15,107,594
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,060,255	3,154,307	2,081,590	1,354,672	456,768	—	15,107,594
セグメント利益	948,874	58,884	130,528	69,850	15,861	△1,116,785	107,214

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,116,785千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「クリーン業務」セグメントにおいて、Razor Glory Building Maintenance Ltd.を連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれんが108,810千円発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	8,691,150	3,426,733	2,138,958	1,725,018	582,741	—	16,564,602
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,691,150	3,426,733	2,138,958	1,725,018	582,741	—	16,564,602
セグメント利益	1,099,004	143,666	135,927	127,760	21,215	△1,180,338	347,235

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,180,338千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。